



# CHAPTER 1

## システム メッセージの概要

このマニュアルは、Cisco IE 2000 スイッチ固有のシステム メッセージについて説明します。これらのメッセージは稼働中、システム ソフトウェアからコンソール（および任意で別のシステムのログイン サーバ）に送信されます。すべてのシステム メッセージがシステムの問題を示すわけではありません。通知目的のメッセージもあれば、通信回線、内蔵ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。



(注)

Cisco IE 2000 プラットフォーム固有ではないシステム メッセージについては、『Cisco IOS Software System Messages for Cisco IOS Release 15.0』を参照してください。

- 「システム メッセージの読み方」(P.1-1)
- 「エラー メッセージのトレースバック レポート」(P.1-5)

## システム メッセージの読み方

システム ログ メッセージは最大 80 文字と 1 つのパーセント記号 (%) で構成され、設定されている場合にはその前に、オプションとしてシーケンス番号またはタイムスタンプ情報が付加されます。メッセージは、次のフォーマットで表示されます。

*seq no:timestamp: %facility-severity-MNEMONIC:description*

システム メッセージ出力はデフォルトで、ログイン プロセスに送信されます。

各システム メッセージはパーセント記号 (%) から始まります。構成は次のとおりです。

**%FACILITY-SEVERITY-MNEMONIC: Message-text**

- FACILITY は、メッセージが参照するファシリティを示す 2 文字以上の大文字です。ファシリティはハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェアのモジュールである可能性があります。表 1-1 に、Cisco IE 2000 スイッチ固有のファシリティ コードを示します。

第 2 章「メッセージおよび回復手順」で、ファシリティ コードのアルファベット順、重大度の高い（数字が小さい）エラーから先に、各メッセージについて説明します。

表 1-1 ファシリティ コード

Facility Code	説明	Location
ACLMGR	ACL マネージャ	「ACLMGR メッセージ」 (P.2-3)
AUTHMGR	認証マネージャ	「AUTHMGR メッセージ」 (P.2-7)
BACKUP_INTERFACE	Flex Link	「BACKUP_INTERFACE メッセージ」 (P.2-8)
CMP	Cluster Membership Protocol	「CMP メッセージ」 (P.2-9)
DHCP_SNOOPING	DHCP スヌーピング	「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (P.2-10)
DOT1X	IEEE 802.1x	「DOT1X メッセージ」 (P.2-13)
DOT1X_SWITCH	スイッチ用 IEEE 802.1x	「DOT1X_SWITCH メッセージ」 (P.2-14)
DTP	Dynamic Trunking Protocol; ダイナミック トランキング プロトコル	「DTP メッセージ」 (P.2-18)
DWL	Down-When-Looped	「DWL メッセージ」 (P.2-20)
EC	EtherChannel	「EC メッセージ」 (P.2-20)
EPM	ポリシー実行モジュール	「EPM メッセージ」 (P.2-24)
ETHCNTR	イーサネット コントローラ	「ETHCNTR メッセージ」 (P.2-24)
EXPRESS_SETUP	Express Setup	「EXPRESS_SETUP メッセージ」 (P.2-25)
FLASH_DEVICE	フラッシュ デバイス	「FLASH_DEVICE メッセージ」 (P.2-26)
GBIC_SECURITY	GBIC モジュールおよび Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY メッセージ」 (P.2-27)
GBIC_SECURITY_CRYPT	GBIC および SFP モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (P.2-28)
HARDWARE	ハードウェア	「HARDWARE メッセージ」 (P.2-29)
HLFM	ローカル フォワーディング マネージャ	「HLFM メッセージ」 (P.2-32)
IDBMAN	インターフェイス記述ブロック マネージャ	「IDBMAN メッセージ」 (P.2-33)
IFMGR	Interface manager	「IFMGR メッセージ」 (P.2-35)
IGMP_QUERIER	Internet Group Management Protocol (IGMP) クエリア	「IGMP_QUERIER メッセージ」 (P.2-36)
ILET	Cisco IOS ライセンスの強制テスト	「ILET メッセージ」 (P.2-37)
IP	インターネット プロトコル	「IP メッセージ」 (P.2-41)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

Facility Code	説明	Location
IP_DEVICE_TRACKING_HA	ハイ アベイラビリティのための IP デバイス トラッキング	「IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ」 (P.2-41)
MAB	MAC 認証バイパス	「MAB メッセージ」 (P.2-41)
MAC_LIMIT	MAC アドレス テーブル エントリ	「MAC_LIMIT メッセージ」 (P.2-42)
MAC_MOVE	ホスト アクティビティ	「MAC_MOVE メッセージ」 (P.2-43)
PHY	PHY	「PHY メッセージ」 (P.2-43)
PLATFORM	下位レベル プラットフォーム固有	「PLATFORM メッセージ」 (P.2-45)
PLATFORM_IPVv6	IP Version 6	「PLATFORM_IPv6 メッセージ」 (P.2-45)
PLATFORM_PM	プラットフォームのポート マネージャ	「PLATFORM_PM メッセージ」 (P.2-46)
PLATFORM_VLAN	プラットフォームの VLAN (仮想 LAN)	「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (P.2-47)
PM	Port Manager (ポート マネージャ)	「PM メッセージ」 (P.2-48)
PORT_SECURITY	ポート セキュリティ	「PORT_SECURITY メッセージ」 (P.2-56)
QOSMGR	QoS Manager	「QOSMGR メッセージ」 (P.2-57)
REP	レジリエント イーサネット プロトコル	「REP メッセージ」 (P.2-62)
RMON	リモート ネットワークモニタリング (RMON)	「RMON メッセージ」 (P.2-62)
SCHED	スケジュール	「SCHED メッセージ」 (P.2-63)
SPAN	スイッチド ポート アナライザ	「SPAN メッセージ」 (P.2-63)
SPANTREE	Spanning Tree	「SPANTREE メッセージ」 (P.2-64)
SPANTREE_FAST	スパニングツリー高速コンバージェンス	「SPANTREE_FAST メッセージ」 (P.2-72)
SPANTREE_VLAN_SW	スパニングツリー VLAN スイッチ	「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (P.2-73)
STORM_CONTROL	ストーム制御	「STORM_CONTROL メッセージ」 (P.2-74)
SUPERVISOR	スーパーバイザ ASIC	「SUPERVISOR メッセージ」 (P.2-74)
SUPQ	スーパーバイザ キュー	「SUPQ メッセージ」 (P.2-75)
SW_MACAUTH	MAC アドレス認証	「SW_MACAUTH メッセージ」 (P.2-76)
SW_VLAN	VLAN マネージャ	「SW_VLAN メッセージ」 (P.2-77)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

Facility Code	説明	Location
SWITCH_QOS_TB	QoS 信頼境界	「SWITCH_QOS_TB メッセージ」(P.2-83)
TCAMMGR	Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャ	「TCAMMGR メッセージ」(P.2-84)
UDLD	単一方向リンク検出	「UDLD メッセージ」(P.2-85)
VQPCLIENT	VLAN Query Protocol (VQP) クライアント	「VQPCLIENT メッセージ」(P.2-86)

- 重大度は 0 ~ 7 の 1 桁のコードで、状態の重大度を表します。この値が小さいほど、重大な状況を意味します。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0: 緊急	システムが使用不可能な状態。
1: アラート	ただちに対応が必要な状態
2: クリティカル	危険な状態です。
3: エラー	エラー条件。
4: 警告	警告条件。
5: 通知	正常だが注意を要する状態。
6: 情報	情報メッセージ
7: デバッグ	デバッグ時に限り表示されるメッセージ

- ニーモニックは、メッセージを一意に識別するコードです。
- メッセージテキストは、状態を説明したテキスト文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワーク アドレス、またはシステム メモリ アドレス空間の位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。これらの変数フィールドに含まれる情報はメッセージごとに変化するので、ここでは角カッコ ([ ]) で囲まれた短い文字列で表されます。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージ内の変数フィールドを示します。

表 1-3 可変フィールド

表記	情報のタイプ
[dec]	10 進整数
[char]	1 文字
[chars]	文字列
[enet]	イーサネット アドレス (たとえば 0000.FEED.00C0)
[hex]	16 進整数
[inet]	インターネット アドレス

## エラー メッセージのトレースバック レポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときは、この情報を提出してください。

次のメッセージ例にはトレースバック情報が含まれています。

```
-Process= "Exec", level= 0, pid= 17  
-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860
```

システム メッセージによっては、エラー メッセージをコピーしたうえでさらに対応を要求される場合があります。次のオンライン ツールからシステム エラー メッセージの詳細を得ることもできます。

## アウトプット インタープリタ

アウトプット インタープリタは、**show tech-support** イネーブル EXEC コマンドなど、さまざまな CLI (コマンドライン インターフェイス) コマンドの出力に基づいて、詳細情報および推奨する対応策を提供します。

<https://www.cisco.com/pcgi-bin/Support/OutputInterpreter/home.pl>

## Bug Toolkit

Bug Toolkit は、解決済みまたは未解決の問題点に関する情報を提供します。特定の Cisco IOS Release で既知のバグをすべて検索できます。

<http://tools.cisco.com/Support/BugToolKit/>

## TAC への連絡

エラーの種類を特定することができない場合は、「[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート \(P.ix\)](#)」を参照してください。

